

平成28年9月

各教育事務所長様
各市町教育長様
各小中学校長様

佐賀県公立小中学校事務研究会
会長 井手 和久

第39回 佐賀県公立小中学校事務研究大会の 開催について

日頃より佐賀県公立小中学校事務研究会及び学校事務職員の研修につきましては、格別の御理解、御指導を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、第39回佐賀県公立小中学校事務研究大会を下記の要項で開催いたします。

公務多忙の折とは存じますが、関係職員の参加につきまして格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

第39回佐賀県公立小中学校事務研究大会要項

1. 大会テーマ 【明日の教育を担う学校事務を創造しよう】
2. 目的 21世紀の学校事務を創造・確立するため、一人一人の学校事務職員がお互いに研鑽を積み、積極的に職務を遂行する意欲と資質の向上をめざし、学校教育の進展に寄与する。
3. 主催 佐賀県公立小中学校事務研究会
4. 後援 佐賀県教育委員会 佐賀県市町教育長会連合会 佐賀県小中学校校長会
5. 期日 平成28年10月28日(金)
6. 会場 佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター
『アバンセ』大ホール
住所 佐賀市天神三丁目2-11
電話 0952-26-0011
7. 日程

9:15	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	13:10	14:40	15:00	16:00	16:10	16:20
受付	開会行事	講演Ⅰ 福地昌平 佐賀県教育庁 教職員課長	事例発表 吉原文雄 佐賀市教委 学事課学校事 務指導員	昼食	福利説明会	講演Ⅱ 円城寺雄介 佐賀県政策部 政策課	休憩	クロストーク	質疑応答	閉会	

8. 参加者 公立小中学校事務職員、市町・県教育関係職員

9. 講演Ⅰ 演 題 「学校事務職員のみなさんへお伝えしたいこと」
講 師 佐賀県教育庁 教職員課長 福地 昌平 様

10. 事例発表 内 容 「佐賀市における学校徴収金システムの現状と導入経緯」
講 師 佐賀市教育委員会学事課 学校事務指導員 吉原 文雄 様

11. 講演Ⅱ 演 題 「県庁そろそろクビですか？－僕が変革を起こす理由－」
講 師 佐賀県政策部 政策課 主査 円城寺 雄介 様

12. その他

- ① 資料代 500円(県外等会員外の方は1,000円)
- ② 弁当 800円(お茶付き) 参加申し込み時に申し込んで下さい。
なお、会場の近くには食事をする場所がありません。
昼食は、できるだけ弁当をお申し込み下さい。
- ③ 参加申し込みは各地区理事にて取りまとめをお願いいたします。
- ④ 県外等の会員外の参加者の方は、下記の『13.申し込み先』に直接申し込んで下さい。
また、資料代・昼食代につきましては、当日会場受付にてお支払い下さい。
- ⑤ 県内の方の参加申し込み後の変更は、各地区理事まで早めに連絡してください。

13. 申し込み先

研修企画部長 伊万里市立大坪小学校 吉田敬幸
〒848-0021 伊万里市大坪町甲2501番地3 TEL0955-23-6148
E-mail : yoshida-takayuki@mail.saga-ed.jp
※ 申込は上記メールアドレスまでメールにてお願いします。

14. 申し込み〆切

平成28年10月14日(金)までにお願ひします。
なお、締切日以降の変更については、なるべくご遠慮下さい。

15. 問い合わせ先

第39回研究大会・運営責任者 佐事研 事務局長 七田英幸
白石町立白石中学校 TEL 0952-84-2411 FAX 0952-84-2412

*この申込書は、会員外(県外参加者等)専用です。メール添付にてお申し込みください。
尚、ホームページからも申し込みができます。「sajiken.com」で検索しオンライン申し込みをご利用ください。

第39回佐賀県公立小中学校事務研究大会 参加申込書

1	都道府県	フリガナ		フリガナ	
		学校名 (所属名)		申込者	
	学校(所属) 所在地	〒		TEL	
				FAX	
	昼食(お茶付)800円の希望		有 ・ 無	資料代1000円と昼食代800円は、当日会場受付にてお支払いください。	

2	都道府県	フリガナ		フリガナ	
		学校名 (所属名)		申込者	
	学校(所属) 所在地	〒		TEL	
				FAX	
	昼食(お茶付)800円の希望		有 ・ 無	資料代1000円と昼食代800円は、当日会場受付にてお支払いください。	

3	都道府県	フリガナ		フリガナ	
		学校名 (所属名)		申込者	
	学校(所属) 所在地	〒		TEL	
				FAX	
	昼食(お茶付)800円の希望		有 ・ 無	資料代1000円と昼食代800円は、当日会場受付にてお支払いください。	

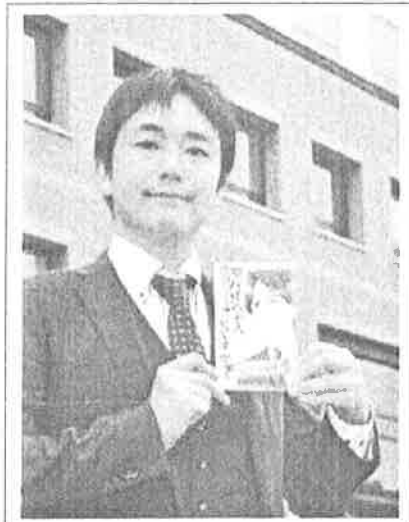
申込先

佐事研 研修企画部長 伊万里市立大坪小学校 吉田 敬幸 あて
TEL : 0955-23-6148

メール: yoshida-takayuki@mail.saga-ed.jp

◎『県庁そろそろクビですか?』が話題

佐賀県職員、円城寺雄介さん(38) 2016年05月08日佐賀新聞



救急医療改革に奔走した体験などを本にまとめた県職員の円城寺雄介さん＝県庁前

■現場主義の改革、共感呼ぶ

県内の救急車に iPad (アイパッド) を備え搬送時間短縮につなげた佐賀県職員、円城寺雄介さん(38)が体験をつづった『県庁そろそろクビですか?』(小学館、新書版)が話題になっている。固定概念にとらわれず、現場に足を運んで課題解決していく姿が共感を呼び、売れ行きも好調で版を重ねる。「はみ出し公務員」は熊本地震でもいち早く現地入りし、現場の知見を支援に生かした。

円城寺さんは2001年に県庁に入庁。10年に医務課に配属されると救急車に同乗して医療現場の課題を探り、消防や医師らと協力して搬送時間短縮を実現、ドクターヘリ導入に奔走した。「特別な人間でなくても、他県が参考

にするようなことを、都会でなく『佐賀発』でできるというのを県民に感じてほしかった」と出版理由を明かす。

2月に出版後、2回増刷した小学館出版局の下山明子編集長は「地方公務員は新卒の希望職種で上位になるなど、若者の注目度も高い。実際働いている人も共感したり、異なる意見があったり、考えるヒントになっているのでは」とみる。情報・業務改革課を経て4月から政策課に。「県政のプラスになることを自分で考え、道筋をつけて下支えする役割」

熊本地震では連絡調整員の一人として現地で情報収集し、支援チームの体調や作業能率を考え、避難所と近隣市に分散して寝泊まりすることを提案した。被災地派遣を後方支援する。山口祥義知事も「自治体が創意工夫でいろいろな施策を考える時代に、彼のような仕事の仕方は必要」とエールを送る。

本の印税は、CSO(市民社会組織)などを支援する財団「佐賀未来創造基金」に全額寄付する。「日頃からボランティア団体やNPOなどとやりとりをしていないと、災害発生時に申し出があっても余裕がないし、誰か分からないと支援を断らざるを得ないこともある」。社会活動に関わる人が増えることを期待している。